

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第26週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (26週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 10 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 12 例。

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群					病型・類型	症状
				20歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代		
2類	結核	宮崎市	1例					1	結核性胸膜炎	咳
		高鍋	9例	1	3	3	2		無症状病原体保有者	—

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、 O-111(VT型不明)
4類	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、 呼吸困難、肺炎
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	肺炎
	梅毒	延岡	60歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹、 肝機能障害

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	
5類	百日咳	都城	5例	2	1	2		持続する咳、夜間の咳き込み、 白血球数増多、嘔吐
		日南	2例		1	1		
		高鍋	5例		1	3	1	

《前週との比較》

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 567 人(定点当たり 17.8)で、前週比 79%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

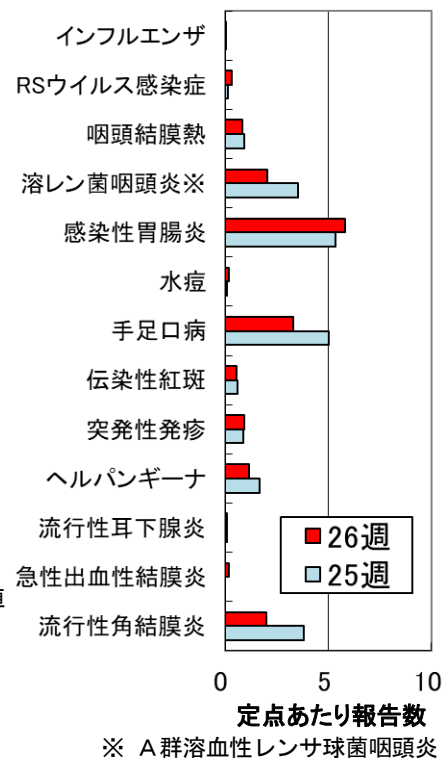
##### 【手足口病】

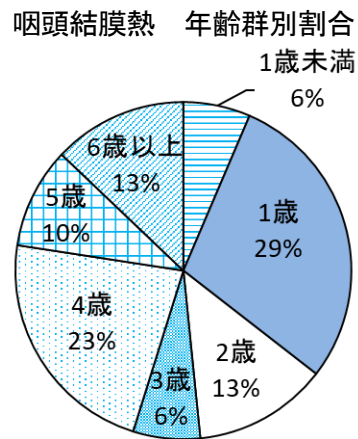
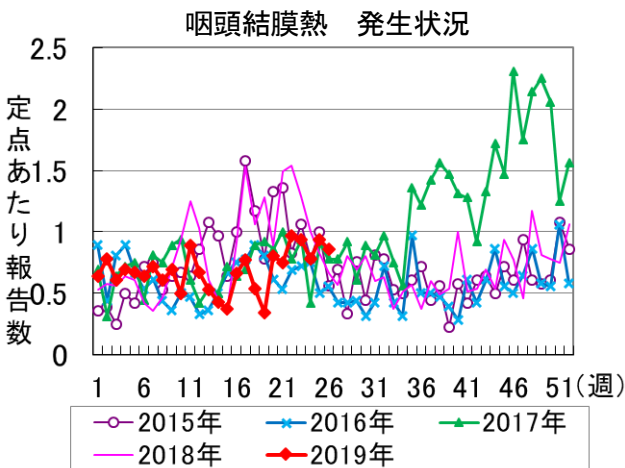
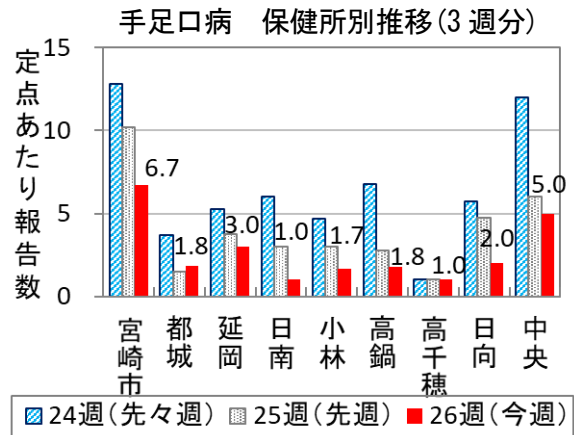
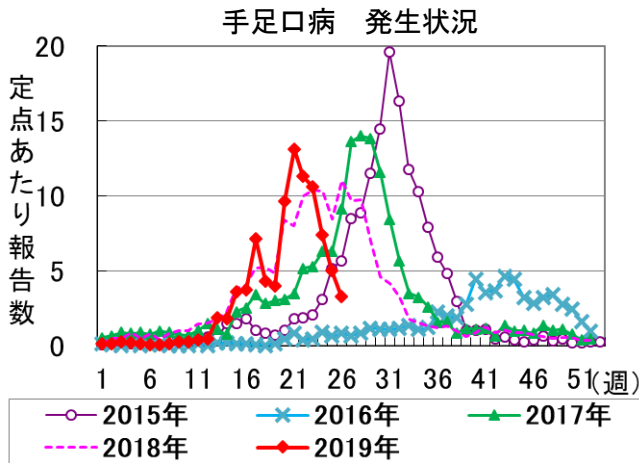
報告数は 119 人(3.3)で、前週比 66%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(6.1)の約 0.5 倍である。宮崎市(6.7)、中央(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約6割を占めている。

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は 31 人(0.86)で、前週比 91%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.78)の約 1.1 倍である。日南(4.3)、高鍋(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値





★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は2例で日南保健所からの報告であった。  
年齢は0～4歳及び5～9歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(6.7)
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(4.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年7月1日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Vibrio cholerae</i> 非O1,非O139,CT(-)	70歳代	男	2019.06.06	コレラ疑い	便	2019.06.20
EHEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2019.05.30	無症状	便	2019.06.07

○70代前半の男性から、非O1,非O139,コレラ毒素(CT)非産生性の *Vibrio cholerae* が分離された。  
*V.cholerae* は、コンマ状のグラム陰性桿菌であり、菌体表面のO抗原の違いによって多数の血清型が存在する。感染症法において問題となるのはCT産生性のO1またはO139のコレラ菌で三類感染症に分類される。これ以外のもは、ナグビブリオと呼ばれ、細菌分類学上 *V.cholerae* ではあるが、感染症法では三類感染症に分類されない。したがって、コレラ菌が疑われる場合には、血清型の確認及びCT産生性(PCR法等による毒素遺伝子の検出を含む)の確認が重要である。

## ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2019.04.20	不明の発疹症、発疹（丘疹）、39.1℃、咽頭炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2019.06.18
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2019.04.22	インフルエンザA型、39.7℃ 下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2019.06.18
インフルエンザウイルスB（ピクトリア系統）	10歳代	男	2019.04.22	インフルエンザB型、39.7℃、 胃腸炎（嘔気・嘔吐）	咽頭ぬぐい液	2019.06.18
コクサッキーウイルスA4型	0～4歳	女	2019.04.29	ジアンソッティ症候群の疑い、39.3℃、 発疹（丘疹）	咽頭ぬぐい液	2019.06.18
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2019.05.09	不明の発疹症、39.9℃、口内炎、 発疹（紅斑）	咽頭ぬぐい液	2019.06.18
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2019.05.15	インフルエンザA型、39.4℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2019.06.18
インフルエンザウイルスB（ピクトリア系統）	10歳代	女	2019.05.07	インフルエンザB型の疑い、38.8℃、 気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019.06.25
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2019.05.14	不明の発疹症（R/O HFMD）、39.7℃、 発疹（紅斑）	咽頭ぬぐい液	2019.06.25
単純ヘルペスウイルス1型	10歳代	男	2019.05.21	風疹疑い、38.6℃、 上気道炎（咽頭炎、咽頭痛、扁桃炎）、 発疹（丘疹）、結膜炎	咽頭ぬぐい液	2019.06.25

○全国的に手足口病の報告数が増加している。現在報告されている原因ウイルスはコクサッキーウイルスA6（CA6）、CA16、エンテロウイルス71などのエンテロウイルスである。近年のCA6による手足口病では、従来の手足口病と発疹の出現部位が異なり、水疱は扁平で臍窩を認め、これまでより大きいことや発症数週間後に爪脱落が起こること等が報告されている。

## 🇯🇵 全国 2019 年第 25 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 25 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	352 例			
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	115 例	腸チフス 1 例
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	10 例	重症熱性血小板減少症候群 2 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	5 例	日本紅斑熱 6 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	76 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例	急性弛緩性麻痺 1 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 11 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症 44 例
	水痘（入院例）	11 例	梅毒	82 例	破傷風 2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	282 例	風しん 50 例
	麻しん	8 例			

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザである。

手足口病の報告数は 16,417 人(5.2)で前週比 129%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (1.7)の約 3.0 倍である。福岡県(17.3)、福井県(15.3)、佐賀県(13.2)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 3,788 人(1.2)で前週比 131%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (1.1)の約 1.1 倍である。福岡県(4.4)、福井県、佐賀県(各 3.4)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第26週(06月24日~06月30日)

疾病名	第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	2	1	1						
	定点当り	0.05	0.03	0.00	0.10	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	5	11	4	3	4					
	定点当り	0.14	0.31	0.40	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	34	31	5	5	13		7		1	
	定点当り	0.94	0.86	0.50	0.83	0.00	4.33	0.00	1.75	0.00	0.25
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	127	74	34	16	4	9	1	3	6	1
	定点当り	3.53	2.06	3.40	2.67	1.00	3.00	0.33	0.75	0.00	1.50
感染性胃腸炎	報告数	193	210	42	34	14	16	34	19	2	41
	定点当り	5.36	5.83	4.20	5.67	3.50	5.33	11.33	4.75	2.00	10.25
水痘	報告数	3	7	5		2					
	定点当り	0.08	0.19	0.50	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	181	119	67	11	12	3	5	7	1	8
	定点当り	5.03	3.31	6.70	1.83	3.00	1.00	1.67	1.75	1.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	22	20	9	3	5	1		1		1
	定点当り	0.61	0.56	0.90	0.50	1.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25
突発性発しん	報告数	32	33	6	14	3	3	1	2		3
	定点当り	0.89	0.92	0.60	2.33	0.75	1.00	0.33	0.50	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数	61	42	13	10	7	2	3			7
	定点当り	1.69	1.17	1.30	1.67	1.75	0.67	1.00	0.00	0.00	1.75
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			2			1		
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	23	12	10		2					
	定点当り	3.83	2.00	3.33	0.00	2.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	2			2					
	定点当り	0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週~26週)

2類感染症	結核	112例(10)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	レジオネラ症	5例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例	後天性免疫不全症候群	1例
	梅毒	13例(1)	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	156例(12)	風しん	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例(1)
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			破傷風	1例
			麻しん	1例

( )内は今週届出分、再掲